

2020年度学校健診後治療調査結果（長野県分）

2021年5月28日
長野県保険医協会

1、調査の目的

新型コロナウイルス感染拡大後における、

- ① 学校健診での各種健診・検査の要受診率の把握
- ② 要受診者が受診できる環境にあるかの把握
- ③ 未受診の児童・生徒の学校での様子や困りごと、健康管理や受診を阻む要因の把握

2、実施期間

2021年3月1日～3月25日

3、回答数・回収率

長野県内の676校に送付、185校から回答を得た。回収率27.4%。

内訳

	回答数	回収率
小学校	97	26.7%
中学校	49	25.1%
高校	20	20.6%
特別支援学校	6	28.6%
無回答	13	
総数	185	27.4%

4、要受診者に対する未受診割合

前回調査（2018年）と比較すると未受診率は改善された健診が多いが、聴力検査と内科健診以外は約半数以上で未受診者がある。前回調査と比較して歯科健診、聴力検査後の未受診率が上昇し、歯科の未受診率が一番高く57.5%であった。

区分	検診実施数	要受診者	受診者	未受診	未受診率	前回調査
歯科健診	44,224	12,570	5,342	7,228	57.5%	54.6%
眼科健診	35,099	1,090	550	540	49.5%	59.1%
視力検査	45,957	14,977	6,715	8,262	55.2%	57.6%
耳鼻科健診	27,414	2,789	1,236	1,553	55.7%	58.9%
聴力検査	34,538	262	164	98	37.4%	27.5%
内科健診	45,685	1,573	1,027	546	34.7%	38.5%

5、各科別事項

(1) 歯科健診

今回調査で未受診率が一番高く、小学校でも5割弱であった。う歯が多いにも関わらず受診に至らないケース、本人が歯科受診を嫌がるケースが報告された。また、歯列咬合では歯科矯正まで望む家庭は少ないとの指摘があった。

また、口腔崩壊ありと回答した学校は28校あった。

区分	検診実施数	要受診者	受診者	未受診	未受診率
小学校	21,512	6,828	3,477	3,351	49.1%
中学校	10,764	2,548	768	1,780	69.9%
高校	8,166	1,676	387	1,289	76.9%
特別支援学校	490	226	93	133	58.8%
無回答	3,292	1,292	617	675	52.2%
全体	44,224	12,570	5,342	7,228	57.5%

口腔崩壊あり

28校、50人

*口腔崩壊ありとは、むし歯が10本以上ある。歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど咀嚼が困難な状態をいう。

歯科事例

1. 永久歯にもう歯が9本あり、咀嚼が困難であると思われたため、保護者（両親）に早急に受診をするようお伝えしたが、なかなか受診に至らず困っている。
2. 特別学級の生徒で体が弱くすぐ発熱し学校も欠席がち。他の受診（心臓・リハビリ）が精一杯で歯科受診までいたってない様子。
3. 生徒が受診を嫌がった。
4. 治療を始めていますが、あまり芳しくない。もう一人は口が大きく開けられずえづいてしまうので様子を見ています。
5. 経済的に治療継続が困難なケースと、生徒へ受診勧告書を渡しても保護者へ伝わらないケースがあつて困っています。
6. もともとむし歯の多い地域。歯科の定期受診率の向上が急務。
7. むし歯が11本あった。
8. 虫歯7本の生徒は1名いた。
9. 要受診84人中、う歯は16人であとは歯列咬合がほとんど。歯科矯正までは望まないとして受診する家庭は少ない。
10. 本人が歯科医院受診を怖がっている。

(2) 眼科

視力検査では、高校では8割以上が未受診となっている。

困難事例のうち座席の配列に困っているとの回答や眼鏡が壊れたまま修理していないといった報告もあった。

①眼科検診

区分	眼科検診	要受診	受診	未受診	未受診率
小学校	18,421	507	311	196	38.7%
中学校	10,377	271	121	150	55.4%
高校	3,562	121	11	110	90.9%
特別支援学校	506	50	21	29	58.0%
無回答	2,233	141	86	55	39.0%
全体	35,099	1,090	550	540	49.5%

②視力検査

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	21,416	6,086	3,520	2,566	42.2%
中学校	11,673	4,734	2,032	2,702	57.1%
高校	8,908	2,803	533	2,270	81.0%
特別支援学校	512	132	50	82	62.1%
無回答	3,448	1,222	580	642	52.5%
全体	45,957	14,977	6,715	8,262	55.2%

困難事例あり

10校、75人

座席配置に困る	5校
眼鏡修理せず	2校
その他	5校

事例

1. 0.3未満のため生活に不便だと思われる
2. 受診を勧めたが、必要感を持っていただけない。
3. 盲学校のため、個々で主治医のもと経過観察しています。
4. 聴力の問題なのか集中力の問題なのか、支援の手を入れにくい。
5. なかなか医療につながらないことが多い。家庭の差が激しい。
6. 受診控えなのか分からないが未受診が多い。

7. 受診できていない
8. コロナで、なかなか受診していただかず、見えにくさからか、頭痛を訴えてくる児童がいた。

(3) 耳鼻科

耳鼻科健診では中学校で7割弱、高校では9割弱が未受診。アレルギー疾患の場合は市販薬で様子を見る家庭が多いとの回答があった。

聴力検査では未受診率は少なくなるが、聴力低下について受診勧奨しても必要性を感じてもらえないケースも報告されている。

①耳鼻科健診

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	14,774	1,513	862	651	43.0%
中学校	7,841	752	235	517	68.8%
高校	2,708	296	36	260	87.8%
特別支援学校	345	27	15	12	44.4%
無回答	1,746	201	88	113	56.2%
全体	27,414	2,789	1,236	1,553	55.7%

②聴力検査

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	16,082	131	106	25	19.1%
中学校	9,322	74	35	39	52.7%
高校	6,269	28	18	10	35.7%
特別支援学校	438	9	5	4	44.4%
無回答	2,427	20	0	20	100.0%
全体	34,538	262	164	98	37.4%

困難事例あり 7校、8人

1. 聴力検査で両耳とも聞こえにくさあり。再度保護者へ受診をお願いするも未受診。
2. 耳垢栓塞で勧告を出したが受診されず。
3. 休校中、ゲームをヘッドホンをつけてやっていたようで、両耳の聞こえにくさがあった。親は仕事で忙しいため受診につながっていない。
4. 何度も受診を勧めたが、必要感を感じていただけなかった（聴力低下の生徒）
5. アレルギー疾患がほとんどで、市販薬で様子みる家庭が多い。

(4) 内科

未受診率が一番低かったが、肥満児増加、不登校増加の指摘や、貧血、心電図要精検、発育（高身長、低身長）に関する受診勧告に応じてもらえないといった回答が目立った。

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	21,735	869	615	254	29.2%
中学校	11,228	373	231	142	38.1%
高校	8,846	209	121	88	42.1%
特別支援学校	529	6	3	3	50.0%
無回答	3,347	116	57	59	50.9%
全体	45,685	1,573	1,027	546	34.7%

頭痛訴え頻繁に来室	2校
アトピー性皮膚炎で湿疹	1校
心の問題抱えている	3校
不登校増加	5校
肥満児増加	8校
低栄養増加	2校
その他	3校

その他内容

1. 肥満度が高い、高身長。
2. 発育相談で受診してもらえない。
3. 色覚異常疑いの児童が受診していないと思われま。

内科の具体例

1. 貧血傾向と言われたが困ってなくて受診していません
2. 貧血があり再三受診をすすめたが受診しなかった。
3. 肥満傾向児の体重増加が大きい。
4. 登校しぶり児童が増えたり、生活リズムがくずれてしまったりする児童もいた。
5. 発育に関する健康診断で身長の伸びが小さい（低身長疑い）にも関わらず一度も受診してもらえないケース診療のタイミングを逃してしまう可能性あり。
6. 摂食障害、自傷行為。
7. 心電図検査で要精検となった児童の保護者に受診勧奨したが受診をしてくれない。
8. 心電図検査、再検査対象にも関わらず、再三担任より受診をお願いしているが未受診。
9. 心臓病経過観察者2名

10. 保護者の希望で受診延期
11. 結核の精密検査の該当者となっているがレントゲン（放射線）への心配からコロナを理由に受診につながっていない。
12. 花粉症で症状がとても重いが未受診。
13. 肥満度が70%を越えているのにもう何年も受診していない。
14. 高身長で思春期早発症が疑われるが、何度受診を勧めても受診しない。
15. 肥満での受診に応じない（困り感がないので）
16. 体調不良での来室が増えた。
17. 低身長にて勧告を出したが、受診されていない。
18. 健診欠席され、受診を勧めたが未受診。
19. 尿検査で潜血があり勧告、電話連絡、紙面でも繰り返し伝えたが受診されていない。

6、未受診の要因について

未受診の要因については新型コロナによる受診控えの指摘が5割弱で一番多かった。ひとり親家庭（32.2%）や経済的困難（24.8%）といった家庭の事情のほか、親の無関心（24.8%）といった回答も多い。

その他の要因として、保護者が外国人であること、保護者の理解力が低い、健康食品に頼るなど保護者の問題を挙げる回答、症状がなければ放置といった本人の姿勢、近くに病院がないといった指摘の他に、新型コロナの影響で（学校から）治療の呼びかけがしにくくなったという回答も見られた。

回答 170 校 複数回答あり

経済的困難	30	24.8%
ひとり親家庭	39	32.2%
共働き	30	24.8%
失業中	2	1.7%
保護者によるDV	2	1.7%
親の無関心	30	24.8%
心身不安定	15	12.4%
発達障害	13	10.7%
コロナによる受診控え	59	48.8%
その他	17	14.0%

その他要因

1. 保護者が外国人（6校）
2. 保護者の理解力や行動力が低い（通知をもらってもどうしたらよいかわからない保護者もいるのでは？と思う）

3. 新型コロナのため治療のよびかけがしにくくなってしまったため。
4. 生徒自身に困り感がない（特に歯科、痛みが無い・気にならない）
5. 受診しているが学校に用紙を提出していないご家庭もある様子。すべてを把握できない。
6. 部活などで忙しく症状がなければ放置しがちと思われる
7. 山間地のため病院が遠い
8. 行く必要がないと思っている。
9. 病院に行かない主義、健康食品系にたよっている親も複数いる。

7、新型コロナウイルス感染拡大の影響

新型コロナの影響があったとした回答は約3割、影響があった人数は233人。その内容としては、肥満、視力低下、心身不安定、不登校といった回答が多く、休校による生活リズムの乱れやコロナへの不安が児童・生徒の健康に影響を与えていることがうかがえる。

また、体力低下とともにケガが増加しているという回答も多く、これらも休校の影響といえる。スマホやゲーム依存で昼夜逆転し、それが不登校に結びついているという指摘も多い。児童・生徒の心身不安定とともに、感染が心配で欠席させる家庭も多いとの報告もあった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響の有無

影響あり	58	31.4%
影響なし	102	55.1%
無回答	15	8.1%

影響があった人数 233人

影響があったと回答したうち、内容の記載があったもの

肥満増加	30人
低栄養増加	2人
虫歯の増加	11人
視力低下増加	21人
保健室登校増加	14人
その他	23人

影響事例

1. メディア（ゲーム）依存の増加。
2. 体調不良による欠席、遅刻者の増加。
3. 不登校。休業、分散登校等がきっかけとなってしまったかもしれない。
4. うつ傾向で受診。
5. スマホ依存、感染不安での不登校。
6. けがの増加。スポーツ振興センター対象のけがが増加。
7. 不登校の増加 リストカット。
8. コロナの不安による心身不調、登校不安による不登校。
9. 学校において負傷「日本スポーツ振興センター医療費請求手続き」が滞ったので保護者にたずねたところ「コロナ」が心配で受診を中断しているとの回答あり。
10. 不登校の増加、歯肉炎の増加（マスクの着用の影響があるかもしれない）
11. 不登校。
12. ゲームにのめりこみ昼夜逆転、不登校。
13. ゲーム依存の生徒がさらに依存度が増し、学校へ来れない日が増えた。
14. コロナ感染が不安心配で欠席させる家庭が多いこと。
15. やせ。
16. 登校しぶり。
17. 不安定児童の増加。
18. 体力低下（体育の授業中に体調不良を訴える生徒が散見された）。
19. 心身不安定・体調不良。
20. 学校でのケガの増加。
21. 肥満には至らないが休校中の体重増加が例年より増加傾向だった。
22. 欠席数の増加。
23. 臨時休校による体力低下。